国際フォーラム

地域文化の再発見

―大学・博物館の視点から

開催日　2017年10月21日(土)22日(日)

会　場　別府大学メディア教育・研究センター4階
メディアホール（大分県別府市北石垣82）

＜プログラム＞

10月21日（土）10:00～17:15

主催者挨拶　吉田 憲司（国立民族学博物館 館長）
共催者挨拶　佐藤 瑠威（別府大学 学長）
趣旨解説　日髙 真吾（国立民族学博物館 准教授）
基調講演
「国東半島における世界農業遺産の取り組みと大学」
飯沼 賢司（別府大学 教授）

第1部　災害の経験から学ぶ博物館活動
「水俣病の経験を伝える博物館活動
―手作り資料館のすすめ」
平井 京之介（国立民族学博物館 教授）
「民間所在の被災資料から地域文化を読み解く」
葉山 茂（人間文化研究機構総合人間文化研究推進センター 研究員）
「刺繍の復興から探る帰郷への道
―小林村の再建過程における博物館の役割」
胡 家瑜（国立台湾大学 前教授）
討論 コーディネーター 日髙 真吾

第2部　大学・博物館から地域文化を考える
「地域の文化財保護における大学の役割
―複合的な文化財情報の構築と活用のために―」
渡辺 智恵美（別府大学 教授）
「歴史文化遺産保全ネットワーク事業から考える
地域文化研究」
天野 真志（国立歴史民俗博物館 特任准教授）
「博物館による歴史学と地方史の再発見
―国立台湾歴史博物館を事例として」
謝 仕淵（国立台湾歴史博物館 研究員）
討論 コーディネーター 川村 清志（国立歴史民俗博物館 准教授）

10月22日（日）10:00～16:30

第3部　市民とともに考える地域文化
「『市民参加型』で地域を学ぶ ～その背景、課題、可能性～」
加藤 謙一（金沢美術工芸大学美術工芸研究所 学芸員）
「多世代協業を通した地域文化の発見と継承
～特別展「工芸継承」の活動から」
小谷 竜介（東北歴史博物館 学芸員）
「地域文化の再発見、地域社会の再構築
―台湾の市民が主体となる文化活動の方法と意義」
黄 貞燕（国立台北芸術大学 助教授）
討論 コーディネーター 武知 邦博（枚方市立旧田中家鋳物民俗資料館 学芸員）

第4部　大学教育から地域文化を見つめなおす
「竹田市宮城・城原地区における
学生による民俗調査と祭礼参加」
段上 達雄（別府大学 教授）
「学生とともに行う
旧真田山陸軍墓地和泉砂岩製墓石の強化処理」
伊達 仁美（京都造形芸術大学 教授）
「台湾の大学における民俗学教育と民俗調査の現状」
林 承緯（国立台北芸術大学 准教授）
討論 コーディネーター 政岡 伸洋（東北学院大学 教授）

第5部　学生・大学院生による地域文化の再発見
「竹田市宮城・城原地区の民俗調査報告会と現地調査」
伊東 幸希（別府大学）
「民俗調査から考える現代の農村
―宮城県大崎市三本木新沼地区の場合―」
遠藤 健悟（東北学院大学大学院）
「旧真田山陸軍墓地による展示室の再構築」
森 加奈子（京都造形芸術大学）
討論 コーディネーター 末森 薫（関西大学国際文化財・文化研究センター ポストドクトラルフェロー）
総括　日髙 真吾
総合司会　寺村 裕史（国立民族学博物館 助教）

本フォーラムは下記の研究プロジェクトの成果の一部である。
・広領域連携型基幹研究プロジェクト「日本列島における地域文化の再発見とその表象システムの構築」
・科学研究費補助金基盤B「東日本大震災で被災した民俗文化財の保存および活用に関する基礎研究」
・フォーラム型情報ミュージアムプロジェクト「日本の文化展示場関連資料の情報公開プロジェクト」

主催　人間文化研究機構 基幹研究プロジェクト NIHU TRANSDISCIPLINARY PROJECTS　国立民族学博物館 National Museum of Ethnology
共催　台湾文化部　国立台北芸術大学博物館研究所　別府大学

〈お問い合わせ先〉国際フォーラム「地域文化の再発見―大学・博物館の視点から」事務局
TEL：080-3776-8688　Eメール：k-nishioka@knit-k.com